

如月号

道徳だより



テーマ：「道徳科」でGIGA端末を生きそう！

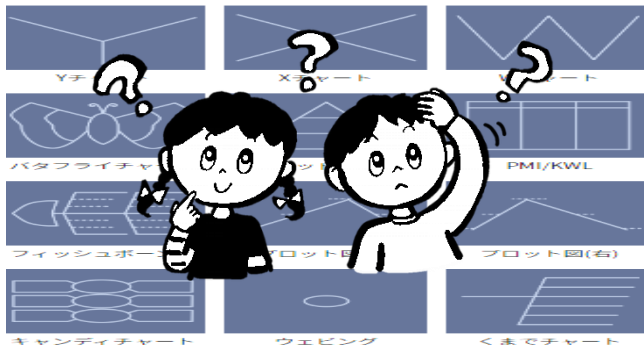
京都市立道徳教育研究会

会長 前田 恵美

広報 報 部

副部長 尾花 陽一郎

道徳×シンキングツール



GIGA 端末を活用した授業が進められていますね。道徳科でも、Formsによるアンケートで事前の意識調査を共有したり、ロイロノートの色カードで自分の立場を表明したりと、様々な使い方が実践されています。

今回はロイロノートに備わっているシンキングツール機能を使って、子どもたちがより深く「考え、議論する」道徳の学習になるよう、考えてみたいと思います。

状況理解の支援

ねらいがぶれない

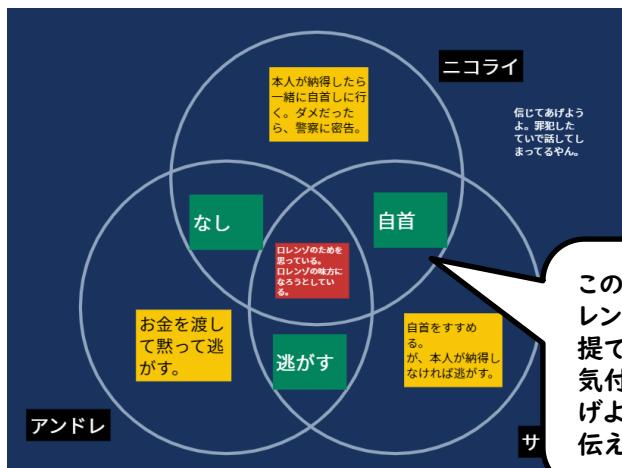
対立する価値の発見

立場や理由の明確化

シンキングツールで...

論理的な判断

多面的・多角的な思考



『ロレンゾの友達』×ベン図

- ①登場人物3人の言動の整理し、
- ②共通する点を見つけ、
- ③3人に共通する思いを考える

この児童は「3人は、ロレンゾが罪を犯した前提で話している」という気づきから「信じてあげようよ」という思いを伝えていました。

中心のカード(共通する思い)だけを取り出して全体で比較し、「友を信じる」という価値につなげていきました。

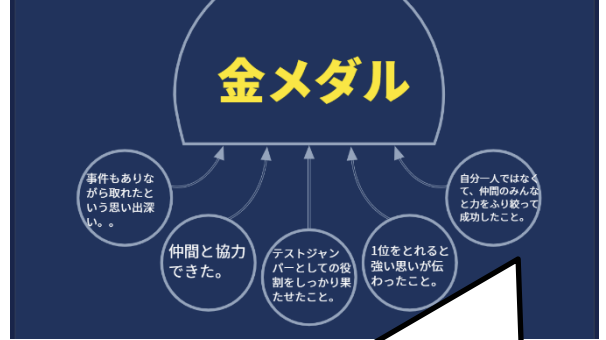
『「二十五人でつないだ金メダル」』×クラゲチャート

テストジャンパーだった西方さんは、自分も正式に出場したかったはず。悔しさもあるかもしれません。

そんな西方さんの思いに深く迫るためにクラゲチャートを活用しました。多様な考えが引き出された上で、「選手として取った銀よりもうれしかった」のはなぜ?とさらに問い、もう一度書いた理由を見直させました。

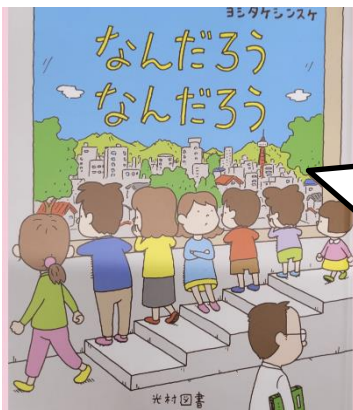
その中で「(集団の中で)役割を果たす」という価値に自然と迫ることができました。

西方さんの心に長野の金メダルがズバリと重く残っているのは、どんな思いからでしょう?



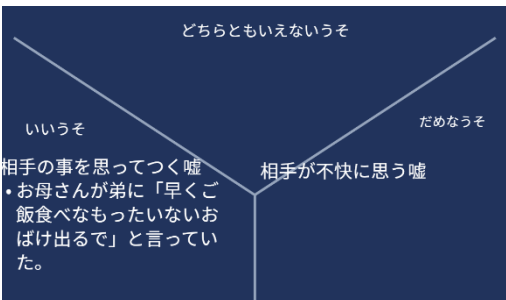
この児童は「自分一人ではなく、仲間のみんな」という点が大切だという考えを伝えていました。

『なんだろう なんだろう』×Y字チャート



最後はヨシタケシンスケさんの『なんだろうなんだろう』(光村図書)という絵本を使った実践の紹介です。

まず、この絵本についてですが、「友だち」ってなんだろう。「しあわせ」ってなんだろう。「正義」ってなんだろう。「ゆるす」ってなんだろう。など、道徳科で考えたい内容をテーマに、素朴な絵と子どもの目線で展開していくおススメの絵本です。ぜひ一度、ご覧になられてください!



みち君、うそってね…。悪い印象だけど全部が悪い嘘ではないんだよ。いい嘘もあるんだよ。例えばその嘘がみんなを助けたり笑顔にしてくれる嘘があるんだ。逆に人を傷つけたり信頼してもらえなくなる嘘もちろんある。でも嘘は全部が悪い嘘ではないからうまく使い分けてみんなとの関係をもっと深めていこうよ

人はうそをついてしまうという人間理解にも触れながら、最後は登場人物に手紙を書きました。

その一編『「うそ」ってなんだろう』には、お父さんが作ったあまりおいしくない料理に対して、どう答えるかを問う場面があります。

その場面を使いながら、「いいうそ」「だめなうそ」「どちらともいえないうそ」の分類をしていきます。すると、だめなものとは分かっていたはずの「うそ」に、実は多様な面があることに気付かされます。

シンキングツールにはまだまだ種類があります。どの場面でも何をねらうのかを意識し、ぜひ活用してみてください!